

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	産業経済部 森林課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト	83 人	(前年度	55 人)
	バンガロー	934 人	(前年度	1,084 人)
	溪流茶屋	1,928 人	(前年度	2,233 人)
	公園	9,900 人	(前年度	10,385 人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理			

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	7,125 千円	(前年度	7,771 千円)
	施設利用料金収入			3,509 千円
	指定管理料			3,549 千円
	その他の収入			67 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	7,090 千円	(前年度	7,652 千円)
	主な支出 施設使用料			84 千円
	人件費			2,292 千円
	光熱水費			1,001 千円
	修繕・消耗品費等			1,792 千円
	委託料			1,373 千円
	負担金・公租公課			223 千円
その他			325 千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	平成23年度より来場者に記入していただけるよう、アンケート記入コーナーを設けている。
(2) 指定管理者の自己評価	平成18年度のオープン以来、最低の売り上げとなった。今年度は8月の台風が原因のキャンセル等もあり、バンガローの利用者が前年比20%強の減となった。子連れの家族の姿があまり見えないので、子どもたちの楽しめる施設の取組が必要と思う。 また、バンガロー棟の家電製品、寝具等の不具合もあり修理も増えている。特に寝具・クッキングヒーターの交換、暖房器具の補充を求められている。 今年度は白髪滝の倒木、大滝の崩土もあり収入が減ることで災害の復旧、園地の除草・清掃が十分にできなかった。 今後も利用者への丁寧な対応と、園内の除草・清掃等施設の維持管理に努めていく。
(3) 市の評価	8月～10月の利用者減少は、台風が接近した影響も受けていると思われる。 子連れ家族の来場が減っている件について、最近は各地でイベント開催も活発であり、施設のPR不足も理由の1つであると思われる。特に最近ではインターネットによる情報収集が主流になりつつあるため、そういった点で後れを取っているのではないかと考えられる。パンフレットの活用やイベントの開催等、新規利用客の増加に繋がるような施策を考えていく必要がある。 施設、備品の修繕や園内の整備についても協議しつつ、利用者に不便をかけることのないよう努めていきたい。

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	農林部 森林課
(4) 指定期間	平成26年4月1日～平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 26人 (前年度 83人) バンガロー 759人 (前年度 934人) 溪流茶屋 1,777人 (前年度 1,928人) 公園 9,820人 (前年度 9,900人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 7,011千円 (前年度 7,125千円) 施設利用料金収入 3,408千円 指定管理料 3,549千円 その他の収入 54千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 6,915千円 (前年度 7,090千円) 主な支出 施設使用料 84千円 人件費 2,421千円 光熱水費 876千円 修繕・消耗品費等 1,668千円 委託料 1,476千円 負担金・公租公課 165千円 その他 225千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	平成23年度より来場者に記入していただけるよう、アンケート記入コーナーを設けている。
(2) 指定管理者の自己評価	今年度売り上げは前年比マイナス3.7%となった。溪流茶屋の売り上げ減少が大きい。 昨年7月の豪雨災害により一時的に施設が利用できなかった影響もあるが、マンネリ化もあると思うので、備品・施設の更新・充実、家族連れのお客様にもっと来ていただけるよう子供たちの楽しめる施設への取組などが需要だと思う。 阿波森林公園のパンフレットが出来たので、広く配布していきたい。また、フェイスブックやツイッターでの情報発信も考えている。 災害復旧もほぼ終わったので、三滝(白髪滝、大滝、布滝)の見物・森林浴に訪れていただきたい。 今後も利用者への丁寧な対応と、公園内の見回り・除草・清掃等施設の維持管理に努めたい。
(3) 市の評価	昨年7月の豪雨による山腹崩壊でシャワー棟とテントサイトの一部が利用不可となり、公園内の林道や遊歩道も一部崩壊した。また週末に悪天候となることが多く、集客に大きな影響が出てしまった。 昨秋から今春にかけて、復旧と併せてテントサイト等の整備も行っており、今年度は利用者数も持ち直すと思われる。ただし、溪流茶屋については以前から売り上げの減少が問題となっており、増収に繋がられる対策が必要である。市からも働きかけ、改善に努めたい。 家族連れで楽しめるイベントの充実を図り、パンフレットやインターネットでの情報発信に取り組むことで集客数の増加へ繋げていきたい。

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名 称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	農林部 森林課
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日
(5) 評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト	125 人	(前年度	26 人)
	バンガロー	984 人	(前年度	759 人)
	溪流茶屋	2,465 人	(前年度	1,777 人)
	公 園	9,849 人	(前年度	9,820 人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理			

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	8,355 千円	(前年度	7,125 千円)
	施設利用料金収入			4,143 千円
	指定管理料			4,007 千円
	その他の収入			205 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	8,254 千円	(前年度	7,010 千円)
	主な支出 施設使用料			88 千円
	人件費			2,396 千円
	光熱水費			939 千円
	修繕・消耗品費等			2,393 千円
	委託料			2,152 千円
	負担金・公租公課			178 千円
その他			108 千円	

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	施設内にコーナーを設け、来場者アンケートからサービス向上への取り組みを行っている。
(2) 指定管理者の自己評価	今年度売り上げは前年比プラス26%となった。 平成30年7月の豪雨災害により被害を受けていた施設が全て復旧されたことと、6月以外の土日・祝日の天候に恵まれたことが影響している。また、イベントの開催や阿波地域に興味を持ったグループに向けて阿波森林公園の周知に努めた。一昨年作成したパンフレットもPRに大変効果があったと思われる。 バンガローを利用された方々には設備も環境も大変素晴らしいと褒めていただいているが、施設オープンから15年目になり、交換・修理が必要な設備も増えている。 リピーターの方々を大切にすることが利用者増加につながる。今後も利用者への丁寧な対応と、公園内の見回り・除草・清掃等施設の維持管理に努めたい。
(3) 市の評価	平成28年度以降下がりが続いていた売り上げが、4年ぶりに増加した。天候に恵まれていたことに加えて、パンフレットでの周知や新たなイベントの開催など、運営努力によるものも大きいと思われる。引き続き、リピーターの確保や新規利用客の増加を目指し、施設周辺の特性を生かしたイベント等、利用促進への取り組みに期待したい。 一方で、設備の老朽化が目立ってきており、早急な対応が必要な箇所もある。対策を協議するとともに施設の保全に十分留意して、環境整備に努められたい。

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	阿波森林公園
(2) 指定管理者	所在地 津山市阿波3108-4 名称 阿波養魚組合 代表者 組合長 小椋 章光
(3) 公の施設の所管部署	農林部 森林課
(4) 指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日
(5) 評価対象期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	テントサイト 198 人 (前年度 26 人) バンガロー 809 人 (前年度 984 人) 溪流茶屋 1,966 人 (前年度 2,465 人) 公園 7,905 人 (前年度 9,849 人)
(2) 事業の内容	阿波森林公園の施設等の利用許可・運営・管理

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 8,784 千円 (前年度 8,355 千円) 施設利用料金収入 3,946 千円 指定管理料 4,044 千円 その他の収入 794 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 9,071 千円 (前年度 8,254 千円) 主な支出 施設使用料(賃借料) 88 千円 人件費 2,207 千円 光熱水費 878 千円 修繕・消耗品費等 3,636 千円 委託料 1,751 千円 負担金・公租公課 201 千円 その他 310 千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	施設内にコーナーを設け、来場者アンケートからサービス向上への取り組みを行っている。
(2) 指定管理者の自己評価	今年度は新型コロナウイルス感染症の影響によって利用者数の減少を心配していたが、健康増進・文化促進事業の実施によってほぼ前年並みの利用者を維持することができ、今年度の総収入は前年比プラス5%となった。 また、テントサイトの改良、大滝歩道の修繕に加え、令和3年度に実施する自主事業に伴い、テントサイトを新設したことから赤字となったが、令和3年度は利用者が増えることを見込んでいる。 今年度は雪が少なく、早くから園内の清掃・手入れができたが、施設オープンから16年目になり、交換・修理が必要な設備も増えている。 今後も利用者への丁寧な対応と、公園内の見回り・除草・清掃等施設の維持管理に努めたい。
(3) 市の評価	今年度は新型コロナウイルス感染症への対応もあり、営業できる期間が短縮されたものの、キャンプへの需要の高まりも手伝い、施設利用料金収入の減額幅は少なかった。感染症対策をしっかりと行うなど、運営努力によるものも大きいと思われる。 収支については赤字となったが、投資的な改良・修繕によるものであり、新規に自主事業を開始することも含め、令和3年度の収益増加に期待したい。引き続き、施設周辺の特性を生かしたイベント等、利用促進への取り組みに期待したい。 また、利用者の利便性や安全面の確保に十分留意して、環境整備に努められたい。